



「歩きたくなくなるまち」始めます！

町では、今後、人口減少や少子高齢化による生活や社会経済が衰退していくことへの対策として、昨年12月に「大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、スローガンとして「活力ある健幸都市を目指して」を掲げ、将来に向けた雇用・観光・子育て・健康増進・在宅高齢者支援などの施策を強化するとしています。

なかでも、健康であることが第一であり、幸せににつながる「健幸」(けんこう)という意識を皆さんと共有し、健康長寿で幸せに暮らせるまちを目指していきたいと考えています。その手段として「歩く」ことを中心とした健康増進「歩きたくなくなるまち」事業に着手していきます。

歩くことをお勧めします

健康とは、身体と心が共に良好の状態を指します。身体の調子がよく、生きがいがあり、人とのふれあいを感じながら暮らせる幸せを総称して「健幸」という言葉を使っています。

まずは、自分の身体の調子を整えるために何をするか。皆さん、不健康にならないための様々な活動を行っていると思いますが、町では、気軽に身体を動かして、ちよっとした時間をあければできる「歩く」ことを推奨したいと思います。

将来の健康のために

というのも、40代、50代と年齢を重ねる中で運動量が減っていき、生活不活発、メタボリ

歩くことをお勧めします

ックシンドロームなどで健康の階段を昇りはじめ、高齢者となったときには体力も落ち、病気がちになってしまう状況が見えているからです。

宮城県は「メタボ県」ともいわれ、国の国民健康・栄養調査では歩かない人全国1位、飲酒者8位、肥満者と喫煙者9位と不健康上位県でもあり、本町も例外ではなく、国民健康保険の被保険者データではメタボリックシンドロームの割合が県平均より高い(特に男性)状況にあります。

歩くことをお勧めします

今の健康、将来の健康を守るために、気軽に歩くことから始めてみてはいかがでしょうか。

■歩くウォーキングの健康効果

- ① 肥満の予防、改善
- ② 生活習慣病の予防
- ③ 骨粗しょう症を防ぐ
- ④ ストレス解消
- ⑤ 老化を防ぐ

歩きたくなくなるまち準備中です

現在、町の施策として「歩きたくなくなるまち」事業を準備中です。みんなで歩くための手法、歩きやすい環境づくり、ウォーキングマップ作成などについて、庁内の職員と町内の民間事業者等とプロジェクトチームを組んで検討していきます。

また、今月号から「健幸都市・おおがわら」の記事を連載していきますので、掲載内容について住民の皆さんから意見・要望をいただきながら進めていきたいと思えます。

皆さんの歩いているコースを教えてください



町内の各地区でどのように歩いているか現状を把握してウォーキングマップを作成していきますので、この辺を歩いているか、何キロくらいか、コースの特徴(車が少ない、道がきれいなど)や歩きつけを教えてください。また、電話で連絡、または公民館にある所定の用紙に記入をお願いします。



町政覚え書き

大河原町長 伊勢 敏

第37回 産業振興を考える

～企業誘致等による雇用拡大は町政の最重要課題の一つ～
～世界有数の企業が町内に立地、本年9月から操業～

本町は昨年「大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。総合戦略は、後期基本計画「NEXT大河原ゆめプラン」の7番目の重点プロジェクトで、ゆめプランの6つのプロジェクトを強化するものである。総合戦略のスローガンは「活力ある健幸都市を目指して」である。

このスローガンは、総合戦略の策定過程で多くの町民から頂いたご意見の重要メッセージ、エッセンスである。「活力ある」はご意見の中で最も多かった「企業誘致・雇用拡大」を託したものである。

地方創生の主眼は、東京一極集中の是正並びに過度な人口減少のスピードダウンである。「東京一極集中」という点に着目する場合、地方創生の実現に向けた最大の取り組み課題は地方における『しごと(雇用)』の確保である。

人は、しごとを通じて社会に貢献し、尊厳と誇りを獲得する。町に仕事があれば、町から出てゆかざるを得ない。それゆえ、企業誘致にさらに注力するとともに、総合戦略では今後、町民の起業及び

町内の既存の企業の新たな分野への進出に対する支援制度の確立を掲げている。

本稿では、企業誘致について考えることとしたい。

産業、業種、企業には、時代の移り変わりによって盛衰がある。それゆえ、企業誘致活動において、どのような企業を重点対象とするか、また、企業立地による雇用創出効果も重要な視点である。

そこで、第一に、企業活動の旺盛な期間を考慮した場合、企業誘致の対象として、時代の先を行く先端産業が望ましい、と考える。第二に、雇用創出効果を考慮した場合、時代の先を行く新たな業態によるサービス・商業の複合施設が望ましい、と考える。

そう考えていた折、ご承知の通り、金ヶ瀬川根工業団地に、企業誘致が相次いで決まった。その一つをご紹介します。㈱とくら運送(本社・角田市)が川根工業団地の町有地を買われ建設した工場を、㈱宮城二コンプレクションが借り、本年9月に、新規雇用約50名で操業を開始する予定である。

製造するのは、テレビ、スマホ、携帯電話、ゲーム機カーナビなどの画面に使われる「液晶パネルを製造するための機械装置」である。

液晶パネルは、薄いフィルムが張られた二枚のガラス板の間に液晶を挟んだものである。㈱宮城二コンプレクション社の技術のミソは、フィルムに微細な電気回路を現像する「露光技術」である。この技術を有するのは同社と日本の1社のみで、日本の2社の技術がなければ、世界中のテレビなどの製造は不可能である。

大河原町で製造された世界最大の精密機械(最大120トン)が世界に輸出される。上記の2つの視点を大切にしながら、高度な技術を有し、需要の途切れない製品を製造する企業などの誘致に今後努力してまいりたい。

14日以降、今なお熊本県及び大分県で地震が続いている。犠牲者の皆さまのご冥福をお祈りし、被災され不自由な生活を余儀なくされている皆さまにお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。【4月20日】

駅前図書館今月の新刊「まちの本棚」

一般/うまい米が食べたい! 本場に美味しいごはんを食べる会/著 【洋泉社】

「お米をつくる人、売る人はもちろんのこと、お米業界の最前線にいる人々取材。その目覚ましい進化ぶりを伝えるとともに、「おいしいお米を食べたい」と願う全国の米好きたちにお米選びのメルクマールを提示する。

小説/我々の恋愛 講談社

2001年、世界の恋愛学者によって開催された「二十世紀の恋愛を振り返る十五万国会議」で、二十世紀最高の恋愛」に選ばれたのは、日本の片隅に住む若い男女の、世にも奇妙で不器用な恋だった。『群像』連載を単行本化。

児童/いつでもイン! 理論社

日曜日の朝、ぼくの部屋にやってきたのは、ことばの魔術師とよばれる、不思議なコンゴウインコだった。名前はシエンブレ。ナマケモノのオクパードさんや、オオアライクイのドミンゴさんの友だちみたいで...

絵本/おじいちゃんゆめのしま 評論社

だいたすきなおじいちゃんとかぶんでかけたシンド。すばらしいしまで、ゆめのようなじかんとすこした。でも、やがておわかれのときがきて...。おじいちゃんとおこのこの、あたたかいものがたり。